

平成24年第3回定例会（9月）一般質問

(1) 「いじめ」問題について

3.関係機関との連携や協力強化

○ 議員 宮下裕美子 3.関係 機関との連携や協力強化についてですが、これについては通告書に大津事件以降、「いじめ」を広範囲な視点(自殺予防、虐待防止、他)で捉え、関係機関(人権擁護委員、主任児童委員、地域、他)との連携や協力によりサポートするべきとの考え方が出てきた。月形町においても、場面に応じた展開は検討されているのか。また、独自の対応はあるかということで、先ほど国や道では検討されていると少し言われていましたが、月形町としてはどうなのかということを中心にお伺いしたいと思います。

○ 議長 笹木 英二 教育長

○ 教育長 松山 徹 ご指摘の「いじめ」を広範囲な視点で捉えるということは、全く同感であります。背景に虐待がある、延長上に命を大切にすることがあると思っております。その上で関係機関の連携については、具体的に申し上げますと住民課とは放課後の子どもの様子、きららクラブ等の活動があるので、それら交流する、民生児童委員とも「いじめ」ではないですが、協議して連携を深めた例はありますので、住民課とは連携が取れております。また人権擁護委員会につきましては、月形エリアを担当する人権擁護委員から子ども人権SOSミニレターの依頼を通して、教育委員会も子ども達の様子を交流しており、学校にも直接、人権擁護委員に行っていただき、子どもの様子を交流していただこうと思っております。更に地域の警察ということでは、例年、岩見沢警察署と連携して薬物乱用防止教室を開催しております。特に今、命を大切にする指導ということで、叫ばれていますので、今年度は命の大切さを学ぶ「命の教室」を実施する予定になっております。一番、やっかいなのは3月議会で楠議員から質問があったネットのいじめについてですが、これも不正追究を打たなければならないということで、ご質問がありました。この7月にeネットキャラバンという組織から講師を招き、町内小中学校全職員を対象に研修をおこなっております。ネットいじめということで、月形ではそんなにインターネットの影の部分はまだというお話でしたが、不正追究ということで、今後はこことも連携を取れることとなりますので、何かの際には検討の備えはあります。

○ 議長 笹木 英二 宮下裕美子君

○ 議員 宮下裕美子 今、いくつか提示されたので、ぜひそれらと連携を検討していただきたいと思いますが、特に私が要望したいのは主任児童委員との連携ですが、「いじめ」

は子ども達からのSOSだけではなく、家庭の保護者からもSOSが発せられることがありますけれども、現状ではそれを受け止める場が教育委員会か学校ぐらいしか一般的にはオープンになっていないと思います。例えばそれが住民課や民生委員が窓口として機能するというPRになって、それは地域ごとに民生委員は配置されているし、主任児童委員は2人ですが、特別児童に特化したところで活動していると思いますので、そこに対しては事前に窓口としての機能を充実させる、あるいはPRとして活用して、役場内だけで連携が取れているかもしれませんが、相談窓口としては私たち町民には全く聞こえてきていないので、そのところを取り組んではいかがかと考えますが、どうでしょうか。

- 議長 笹木 英二 教育長
- 教育長 松山 徹 住民課とも協議して、検討したいと思います。
- 議長 笹木 英二 宮下裕美子君
- 議員 宮下裕美子 了解しました。